

いわき農林事務所ニュース

2007年 3月号



◎活動状況

- ・ [第4回林業教室開催](#)
- ・ [高病原性鳥インフルエンザ発生に関わる緊急的な消毒を実施](#)
- ・ [第3回いわき地域有機農産物等の普及推進会議開催](#)
- ・ [グリーンツーリズム地方推進会議開催](#)

◎トピックス

- ・ [環境にやさしい米づくり](#)
- ・ [いわき市営牧野放牧検討会開催](#)

活動状況

○第4回林業教室が開催されました

2月8日(木)、第4回林業教室が開催されました。今回は、原木椎茸栽培技術及び間伐材等小径木加工並びに長伐期施業による大径材生産技術について学習しました。

原木椎茸栽培では、「こだわり山の幸」でもおなじみの久之浜町在住キノコマイスター新妻衛氏を訪ねました。きれいに乾燥が仕上がった乾し椎茸を見て、林業教室生の感想は、「こんな素晴らしいのはいわき市内では売ってないよね。」椎茸原木が伏せ込んである「ほだ場」において、一本50kgもあるような原木を手にしたの感想は声には出ませんでした。本物を追求した、こだわりの椎茸を作るといふ、職人的な生産技術と哲学について学びました。



新妻 衛氏を囲んで

次に学習場所を三和町に移し、県指導林家の田子英司氏の小径木加工施設においては、間伐材等小径木の利用と流通について学びました。田子氏の100年杉の山では、4代前からの山造りの苦労話、歴史、頑固なまでの「山造りの哲学」について学びました。

○高病原性鳥インフルエンザ発生に係わる緊急的な消毒を実施しました

2月16日(金)から2月28日(水)にかけて、市内養鶏業者等の農場周縁で緊急消毒(消石灰散布)が実施されました。ネズミ等による鶏舎内へのウイルスの持ち込みを忌避効果により防止すること、もし侵入した場合はこれら動物への消毒効果が期待できることから実施されました。

宮崎県及び岡山県における高病原性鳥インフルエンザの発生については、農林水産省の感染経路究明チームは、カモなどの渡り鳥がウイルスを国内に運び、ネズミ等の野生動物が鶏舎内に持ち込んだ可能性を示唆しました。これを受け、野生動物の鶏舎侵入を防止するため、西日本を中心に家畜伝染予防法に基づき、鶏飼育農場で消石灰散布による消毒を実施する事が決定されました。

本県でも、農林水産省からの通知を受け、1,000羽以上飼養する農場において、家畜伝染病予防法に基づく緊急消毒を実施しました。

いわき市では7戸の養鶏農場(採卵2戸、ブロイラー3戸、種鶏2戸)が消毒の対象となり、2月20日(火)～26日(月)にかけて全ての農場で消毒が実施されました。(いわき家畜保健生所)



消毒作業状況



有機農産物の拡大を目指して

また、引き続き行われた現地検討では、トマトの特別栽培実証ほにおける生育状況を確認しました。定期的な実施する栄養診断に基づいた適切な施肥管理により、環境と共生する農業が実施されている様子を実感することができました。

次年度も、定期的な開催により、有機農産物等を活かした農業の振興を図っていくとしています。

2月23日(金)、有機栽培等の技術の普及や産地化を推進していくため、第3回いわき地域有機農産物豆腐級推進会議を開催しました。

会議には有機栽培等実証ほの担当農業者や県、市、JAなど関係機関の担当者が出席し、平成18年度の推進実績並びに実証ほ成績と次年度の取組計画等について協議検討しました。



トマト特別栽培実証ほでの生育状況

2月20日(火)、いわき地方グリーン・ツーリズム推進会議が県合同庁舎内会議室で開催されました。

今後の推進会議の方針や県の新たな施策について説明の後、秋田県皆瀬村活性化センター専務の高橋正夫氏から第3セクターでの取り組み状況について講演して頂きました。

第3セクター運営での苦労話や現在の業務状況についての赤裸々なお話があり、出席した関係者は興味深く聴講しました。

トピックス

○環境にやさしい米づくりに取り組んでいます



環境にやさしい米づくり展開中

2月5日(月)、JAいわき市本店でJAいわき市環境にやさしい米づくり部会総会が開かれました。昨年9月に設立され、初めての総会となりました。エコファーマーと特別栽培者の稲作農家の方々に構成されており、設立当時は55名でしたが、現在は71名と部会員が増えました。

平成18年度の事業報告や平成19年度の事業計画等が議案として提案され、環境にやさしい米づくりの取り組みをもっとPRするため、エコファーマーが栽培したお米を直売所等で販売してはどうか等、活発な議論がなされました。今後の活動については、環境と人にやさ

しい米づくりの拡大推進を展開し、高品質かつ均質な売れる米づくりの生産基盤の確立に取り組むことを目標にし、36・8運動(JAいわき市の環境にやさしい米づくりに取り組む数値目標も呼称で、平成19年には作付面積の3割以上、平成20年には6割以上、平成21年には8割以上に取り組む計画)の推進や他組織との連携を強化し活動を行うことが確認されてきました。

今後もさらに部会員が増え、消費者の信頼に応えられる安全・安心なお米の生産に取り組むことが期待されます。

○いわき市宮牧野の放牧検討会が開催されました

2月15日(木)16日(金)、平成19年度の芝山牧野、荻牧野放牧に向けての検討会がそれぞれ三和公民館、吉間田集会所で、いわき市の主催により開催されました。

放牧利用者や関係者を集めての検討会を毎年2月に開催しており、今年の放牧実績や衛生検査状況、疾病発生状況等を報告して、翌年の放牧方法や疾病発生防止対策等について協議されました。

なお、平成19年度のいわき市への放牧申請は3月20日(火)までとなっており、放牧条件の整う4月下旬頃に開牧となります。(いわき家畜保健衛生所)



4月の放牧に向けて

